

シルバーたいとう センターだより

No.129

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス <http://www.taito-sc.or.jp/>
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 平成29年10月15日
会員数 928人(29年9月末日現在)

10月は広報活動強調月間です。



東京しごと財団「特設展示コーナー」にて



台東区シルバー人材センター「情報提供コーナー」にて

台東区シルバー人材センターは、「働くこと」を通じて会員皆様の生きがいや健康づくりをすすめる、そして活力ある地域づくりに貢献していくため、会員の方々に就業の機会提供と社会活動への参加の支援をしています。

高齢社会の進展とともに、シルバー人材センターの役割は、ますます重要になってきており、当センターが行っている様々な事業活動について、地域の皆様のご理解とご協力を頂くため、広報活動にもより一層、力を入れて取り組んでおります。この環として、公益財団法人東京しごと財団とともに、当センターとしても毎年十月を「広報活動強調月間」と定め、地域特性を活かした取り組みや特色ある活動報告などPRに努めてまいります。

広報活動強調月間における当センターの活動PRの取り組みとしては、区役所で実施される、十月十三日・十四日開催の「消費生活展」と十月十八日・十九日開催の「寿作品展」に参加をいたします。それぞれの事業には、区内の消費者団体や老人クラブの皆様など、多くの団体や個人の皆様が多彩な展示や事業紹介を行っております。開催日当日は、会員の入会募集や発注者への仕事のお願い等PR用リーフレットを配布するとともに会員による折り紙、毛筆筆耕の実演及び作品展などを通じて、当センターの活動をPRいたします。

当センターでは、より多くの就業機会を継続的に確保していくとともに、今後の高齢社会に向けた新たな就業機会を確保していく必要があります。会員の皆様が力を合わせて就業先でのお客様に対するサービス向上を心がけることが、シルバー人材センターの大きなPR活動にもつながります。

また、最近では、会員の皆様の紹介により新たに入会されたという方も多くいらっしゃり、皆様の口コミの力の大きさを感じております。引き続きお知り合いの方を多くお誘いいただければ、会員数の増加へとつながっていくと思われまます。

当センターは社会貢献の一翼を担う団体として、その特徴・特色を広く区民の皆様にアピールしていくため、今後とも、会員の皆様とともに広報活動を積極的に展開していきます。

理事会だより

第四回理事会(平成二十九年七月二十五日開催)

審議事項

(1) 新規入会について

協議事項

(1) 平成二十九年度広報活動強調月間の実施及び消費生活展・寿作品展示会参加について

報告事項

(1) 平成二十九年六月分事業実施状況について
(2) 平成二十九年度安全就業実施計画について

(3) 平成二十九年度安全就業対策について

(4) 自転車シミュレーターによる自転車安全教室開催について

(5) 安全就業推進連絡拡大会議の報告について
第五回理事会(平成二十九年八月二十五日書面による決議)

提案事項

(1) 新規入会について

第六回理事会(平成二十九年九月二十六日開催)

審議事項

(1) 新規入会について

(2) 個人情報保護に関する規程の改正について

(3) 平成二十九年度第二回収支補正予算(案)について

報告事項

(1) 平成二十九年七月分・八月分事業実施状況について

(2) 役員等が参加する行事予定について

(3) 広報について

(4) 転倒予防勉強会の参加報告について

委員会だより

第三回総務・広報委員会(平成二十九年九月二十七日開催)

(1) センターだより十月号について

第二回安全管理委員会(平成二十九年七月十九日開催)

(1) 安全管理委員会委員長の選出について
(2) 平成二十九年度安全就業実施計画(案)について

(3) 平成二十九年度安全管理委員会の巡回指導実施(案)について

(4) 安全就業対策について

第三回安全管理委員会(平成二十九年九月二十一日開催)

(1) 平成二十九年度安全就業巡回指導実施状況の中間報告について

(2) 平成二十九年度事故報告(上半期)について

(3) 平成二十九年度連合の取組計画について

(4) 平成二十九年度安全就業推進連絡拡大会議について

(5) 平成二十九年度シルバー人材センター安全就業標語の選考結果について

転倒予防勉強会に参加しました

八月九日、東京しごと財団・会議室にて「転倒予防勉強会」が開催され、金子理事が参加しました。

帝京平成大学の加藤浩人講師により「高齢者の転倒予防・加齢に伴う形態・機能低下及び運動効果」と題しての講義でした。

「私たちの身体は、高齢者になると、年齢とともに運動機能が低下していく。これは、体力の低下とともに、骨の量(骨密度)が減少するため、対策としては、自分自身に合った内容の運動を実施することであり、

一、自分の身体状態を把握する。二、本人に合った機能改善のトレーニングをする。三、並行してバランスのとれた食事を心掛ける。という内容でした。

これらを継続することで、転びにくい体づくり(転倒予防)の効果があるとのこと。

今回参加した金子理事が特に心掛けていることは、

①なるべく歩くこと。②駅ではエスカレーターを使わず階段を使う。ことであり、しばらく実践した結果では、かなり効果があると実感したようです。

皆さんもご自身に合った運動を見つけてチャレンジしてみても、いかがでしょうか。

安全就業推進連絡拡大会議報告

今年度の安全就業推進連絡拡大会議が、七月十八日(火)午後二時から、東京しごとセンター地下二階講堂において開催され、次のとおり報告がありました。

就業時の安全対策としてご参考にして下さい。
1. 平成二十八年度の事故概況報告

(1) 事故件数の推移

【傷害事故】※二十八年度は、重篤事故は死亡事故を含めて発生なし

・二十八年度：四百九十六件(就業中三百三十三件、就業経路途上百六十六件)

・二十七年度：五百三十件

- ・二十六年度：五百十五件
- ・二十五年度：五百十二件
- ・二十四年度：五百五十五件

【賠償責任事故】

- ・二十八年度：百九十九件
- ・二十七年度：百九十七件
- ・二十六年度：百七十一件
- ・二十五年度：二百三十八件
- ・二十四年度：百九十一件

(2) 傷害事故発生の傾向(就業中)

【職群別の事故件数】()は二十七年

- ①屋内清掃：五十八件(四十一件)、②建物管理：三十八件(二十八件)、③屋外清掃：三十六件(三十二件)、④植木造園：三十五件(四十七件)、⑤除草作業：二十四件(二十七件)

【時間別の発生件数】 事故発生の傾向として、午前中が多い。

6～7時台	17件	14～15時台	58件
8～9時台	66件	16～17時台	36件
10～11時台	84件	18～19時台	15件
12～13時台	36件	20～21時台	13件

【曜日別の発生割合】 事故発生割合として、月・水・金が多い。

月曜日	19%	金曜日	16%
火曜日	15%	土曜日	6%
水曜日	20%	日曜日	10%
木曜日	13%		

【最近10年間の事故件数推移】

年度	傷害事故(件)	賠償責任事故(件)
28年	496	199
27年	530	197
26年	515	171
25年	512	238
24年	555	191
23年	561	229
22年	527	175
21年	518	183
20年	575	174
19年	578	168

平成29年度シルバー人材センター安全大会の報告

今年度のシルバー人材センター安全大会が、九月二十九日(金)午後二時三十分から、東京しごとセンター地下二階講堂において、次のとおり開催され、安全管理委員会の中野委員、吉川委員、姫野次長が参加いたしました。

1. 表彰式

- (1) 安全就業優良シルバー人材センター
 - ・公益社団法人足立区シルバー人材センター
 - ・公益社団法人日野市シルバー人材センター
 - ・公益社団法人西東京市シルバー人材センター
 - ・公益社団法人瑞穂町シルバー人材センター
- (2) 安全就業標語
 - (テーマ1)「転倒・墜落・転落事故防止」
 - ・最優秀～自覚せよ 自分の体力 身のこなし (東村山市)

・優 秀「まあいいや」心の油断 事故のもと

(千代田区)

・優 秀「安全帯 自分を救う 命綱

(文京区)

・優 秀「プロだから 基本をまもる カッコよさ(江東区)

・優 秀「平らでも すべるぞ ころぶぞ つまづくぞ(奥多摩町)

(テーマ2)「各地の実情に合わせて設定したもの」

・最優秀「安全は 声掛け 呼び掛け 心掛け(あきる野市)

・優 秀「危険予知 知らない怖さに 知る強さ(目黒区)

・優 秀「信号が てんめつしたら 待つ勇氣(渋谷区)

・優 秀「めんどうだ それがいけない 事故のもと(調布市)

・優 秀「この程度 ゆるむ気持ちに ひそむ事故(清瀬市)

2. 安全就業に関する事例発表

表彰された4つのシルバー人材センターが安全就業への取組事例を発表

3. 「シルバー人材センターにおける自転車事故状況と事故防止対策について」

一般財団法人日本自転車普及協会 自転車文化センター 谷田貝一男 学芸員

安全宣言

東京都の全てのシルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指す。

一 危険または有害な作業を内容とする業務は受注しない。

二 事故の未然防止のために必要な知識・技能の情報を共有する。

三 事故の情報を分析し再発防止を徹底する。

平成二十七年七月一日

東京都シルバー人材センター連合

シルバーパス交付事務に 四十六名の会員が従事しました

九月一日から一ヶ月間、台東区役所や生涯学習センターなど八か所に設置された窓口で、平成二十九年度「東京都シルバーパス」の更新手続きが行われました。この業務には四十六名の会員が、二十日間にわたって従事しました。

従事された会員の皆さんは、会場の整理や書類チェックと審査、シルバークラスの氏名記入等の業務について事前に説明を受けて、当日は親切・丁寧に業務にあたっていました。



家事援助サービスで 大掃除をお受けいたします

窓・網戸やフローリングの清掃等を家事援助登録の会員が研修を受講して、大掃除や清掃など各家庭で従事しています。会員の皆様のお宅でもご協力できると思います。

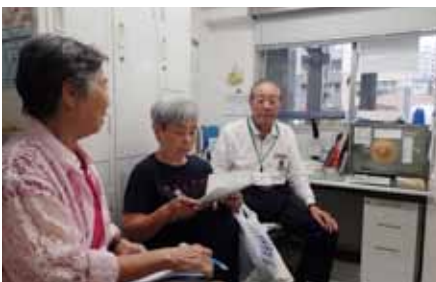
1. 窓ガラス・網戸
2. フローリングのワックスかけ
3. 台所・換気扇
4. トイレ・浴室

など、お受けいたします。ご相談ください。
※年末になる前に大掃除してみませんか。

平成二十九年度(上半期)実績報告

回	実施日	施設名	担当委員	コメント
1	6月12日(月)	日暮里駅西口駐輪場 植木剪定(谷中5)	石森委員長 中野委員	①駐輪場では事業所ごとの対応マニュアルを作成中で、必要な安全対策項目も盛り込むように。 ②剪定・除草では、熱中症対策等健康管理対策を十分に行うよう注意喚起。また、発注者の意向確認をしての作業履行を確認。 ③施設清掃で、両手を道具でふさぐような危険なことはしないように。また高い箇所の窓拭きなど安全確保が出来ない作業はしないように。 ④保育園では、就業中の休憩はとりにくいため、施設の全体状況をみながら適宜とるように。 ⑤新しい施設は、施設周辺からの注目度が高いため、作業態度等にも注意を払うように。 ⑥清掃面積が多い施設では、会議室等の利用状況に応じて適宜作業すること。
2	7月6日(木) 財団同行	上野区民館 御徒町南広場駐輪場	金子委員長 姫野推進員	
3	7月12日(水)	東上野保育園 仲御徒町駐輪場	辻委員 佐橋委員	
4	7月14日(金)	待乳保育園 たなかスポーツプラザ	吉良委員 姫野推進員	
5	8月10日(木)	入谷駐輪場 産業研修センター	中野委員 吉川委員	
6	9月11日(月)	金杉区民館下谷分館 植木剪定(根岸5)	辻委員 窪田委員	

安全就業の巡回指導を
しています



入谷駐輪場



仲御徒町駐輪場



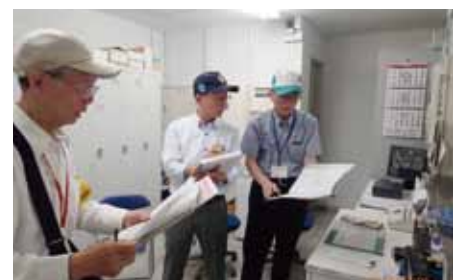
植木剪定(谷中5)



植木剪定(根岸5)



たなかスポーツプラザ



御徒町南広場駐輪場

平成29年度上半期事故報告

平成二十九年度上半期に発生した事故の報告をします。次表にまとめましたが、会員の皆様は就業中はもちろん、就業先への行き帰りの間も事故に合わないよう十分に気を付けてください。

発生月	事故概要	けがの程度	備考
6月	駐輪場において倒れた自転車を手前に引き上げていた所、正面からの強風にあおられて体勢を崩す。体勢を立て直そうとしたが、後方の停車中の自転車に体がぶつかり、自転車に挟まれるように後方に倒れた。その際、後方の自転車の車体とぶつかり背中を強打した。	・背中打撲挫傷 通院1日 [手術:無、 後遺障害:無]	77歳 男性
6月	就業先からの帰宅途中、交差点の左側から自動車 came ため、交差する道路から左端に停車して自動車通過を待っていた。自動車が右折する際、交差点の内側の端を走行したため、とっさに避けられず、フロントバンパーが自転車の前輪に接触して、押されるような形で後方に転倒し、右膝・腰・左肩を強打した。	・右手舟状骨骨折 ・左足関節内果骨折 ・左股関節・膝関節打撲捻挫 ・頸椎捻挫 通院中 2～3か月安静 加療見込 [手術:無、 後遺障害:無]	75歳 女性

会員さんが台東区美術展に出展

台東区発足七〇周年記念事業として第四十回台東区美術展(主催台東区教育委員会・台東区美術会)が九月八日から十三日まで、隅田公園リバーサイドギャラリーで開催されました。

洋画七十七点、水墨画二十六点、日本画十四点、彫刻二点、版画一点が出展されました。当センター会員の牧野民子さんが「早春暹」と題して、出展された水墨画が奨励賞を受賞されました。

同じく会員で、台東区美術会委員の小松原文代さん、石井多喜子さんが、洋画部門に出展されました。

今回のインタビュー・取材は石森相談役にお願いいたしました。



牧野民子さんの作品「早春暹」



小松原文代さんの作品「おもいで」

季節の移り替わりで、いまだに春が来ないという思いで描きました。

ヨーロッパに旅行した時にホテルの窓から入る朝日がきれいでした。街並みも素敵で忘れていたことを思い浮かべながら描きました。



石井多喜子さんの作品「キングプロテア」

キングプロテアは、南アフリカ、オーストラリア原産で花言葉は、「甘い恋」です。私の大好きな花です。

高齢者の生活調査実施通知書を配布しました。

九月に、区内の七十五歳以上の高齢者の皆様に生活調査実施通知書を、一万五千枚配布しました。従事した八十二名の会員にとっては、重要な個人情報ですので気を引き締めての作業でした。



契約金の「目安となる価格」を改定しました。

十月一日から、最低賃金の改定を参考に、シルバー人材センターの契約金の「目安となる価格」を改定しました。新規に受託する契約から適用になります。

詳しい内容は、ホームページをご覧ください。また、事務局にお問い合わせ下さい。

会員ひろば

毛筆筆耕講習会が開かれました

毎月第三火曜日に午前十時より小島社会教育館ホールにて毛筆筆耕講習会が開かれます。

十月のテーマは午前・午後とも「長封筒の宛名書き」です。十一月は、午前・午後とも「掲示物を書く」です。十二月は、午前は「年賀状を書く」で、午後は、「頁原益軒「一日千金」を書く」です。会員を対象とした毛筆筆耕講習会には是非ご参加ください。



パソコン講座を開催しました

毎月六十歳以上の区民の方を対象にパソコン講座を開催しています。十月のテーマは「初めてのパワーポイント」「ワードで宛名シールの作成」です。興味のある方はご参加ください。

詳しくは、区の「広報たいとう」をご覧ください。



折り紙塾が開かれました



九月二十六日(火)午前十時からシルバー人材センター会議室において、会員を対象とした折り紙講習会が開かれました。今回のテーマは「ハロウィン」でした。月一回のペースで楽しく折り紙の技術を勉強していきますので是非ご参加ください。参加希望の方は事務局までお問い合わせください。



ボランティアに参加しています

区内の特別養護老人ホームや児童館などで会員グループによる「折り紙講習会」を行っています。



宮澤リーダーをはじめ七名のシルバー人材センター会員の方々がボランティアで参加し、デザインサービスを受ける皆さんと一緒に優しく触れ合いながら折り紙をおりました。

投稿写真

私のフォトグラフ

投稿コーナー



「藤川 實さん撮影」



シルバー人材センターへの
要望・提案をお聞かせください